

マイナ情報使い

保険金請求促進

日本生命 業界初

日本生命保険は12月から、マイナンバーカードの情報を使って死亡保険金の請求を勧めるサービスをはじめる。保険の契約者が死亡してマイナンバーカードの情報が失効したことを探知したら受取人に知らせる。同社によると、マイナンバーカードの情報から保険金の請求を促すサービスを取り入れるのは生保業界では初めてという。

日本生命の死亡保険契約者で、スマートフォンアプリにマイナンバーカード情報を登録している約5万人のうち、60歳以上の契約者ら約1万人が対象となる。日本生命は年1回、野村総合研究所が提供する確認サービスを通じて、契約者のマイナンバーカードの失効の有無を確認する。失効している場合は、行政機関への照会などで契約者の安否を確

認し、保険金の受取人に請求手続きを促す。

日本生命では、このようないくつかの死亡保険金の請求勘定のほかにも、年金保険を受け取るために毎年提出する書類をマイナンバーカードの情報を利用して省くことも検討しているという。